学生×企業　協創プロジェクト

ゴミ拾いの県民運動化
(沖縄まるごとゴミ拾い)

普天間高校チーム







1．なぜこの企業テーマを選んだのか

学校の総合探求で自分の選んだテーマがゴミ問題についてだったので、teamsでこのプロジェクトを見た時にピッタリだと思って選んだ。

2．プロジェクト概要

自分たちの地域に落ちているゴミを拾い、地域の環境をきれいにするとともに、活動を通して地域の方々やほかの団体さんとの交流も深め合って、コミュニティ作りにつなげる。また、地域の環境問題について考えるきっかけを作り、一人ひとりが地域を大切にする気持ちを持てるようにすること。

３．プロジェクト結果

参加人数:　普天間高校14名

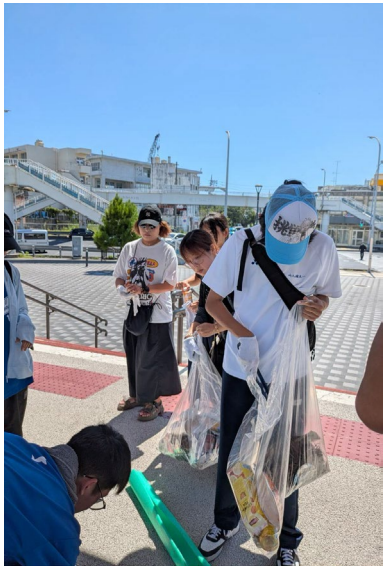
回収量:　ゴミ袋9袋分

種類の内訳:　タバコの吸い殻が最多

マックのカップ・フタ
空き缶
ペットボトル
お菓子の袋
保冷剤
プラスチックの弁当箱
ストローの包み袋など

3．プロジェクト結果（画像）











４．プロジェクトを通じた気づき（現場でわかった課題）

マクドナルド前の道が比較的ゴミが多く、飲みかけのカップのゴミが多かった。また、お店の裏側にゴミが多かった。
このことから、飲み終わっていない状態でお店から出て途中で飲みきってしまったから、道端に捨てたのではないかと考えた。

５．今後の展望

この経験を通して、継続してゴミ拾いを行うことで周りの人の意識を良くすることができると感じた。なので、まずは自分が月に1回でもゴミ拾いイベントに参加しようと考えた。
また、日頃から意識することとして、前提としてゴミはちゃんとゴミ箱にすてる。
さらに、個人でできることとして、クラスメイトや家族にゴミ拾いのことを日常的に話し、ゴミ拾いを身近に感じることでイベントへの参加者を増やせるのではないかと考えた。

６．【挑戦！】企業・地域への提案

用水路や茂み、マック周辺にゴミが多かったので、歩道に等間隔で簡易ごみ箱を設置すると良いと思いました。
また、その回収やゴミの処理は市役所が主体となって、地域の企業と協力して取り組むとよいのではないかと思います。
だから、ゴミ箱設置の費用や長く続けられるシステムについて提案します。

1. ゴミ箱の設置や維持費用は協力する企業から集金したり、税金をなんとか工面したりして用意する。
2. ゴミの回収は、いつどの企業がするか決めて回収し、処理は市役所が行う。

このようなシステムを作ることで、協力する企業だけでなく、地域全体のゴミへの意識を高められると思います。だから、私は歩道に簡易ごみ箱を設置する事を提案します。